

《食に関する指導の目標》

- ①食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。 (食事の重要性)
- ②心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。 (心身の健康)
- ③正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。 (食品を選択する能力)
- ④食物を大事にし、食物の生産などにかかわる人々へ感謝する心をもつ。 (感謝の心)
- ⑤食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。 (社会性)
- ⑥各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心を持つ。 (食文化)

《取り組みの様子》

ポップコーン作り



1年生は、ポップコーン用のとうもろこしを栽培しました。収穫したもろこしを乾燥させてから、ポップコーンにして食べました。とっても上手にでき、買ったポップコーンよりおいしかったです。

夏野菜の収穫



2年生は、校庭の畑でいろいろな夏野菜を育てました。きゅうり、ミニトマト、なす、ピーマン、オクラ、枝豆など、たくさん収穫できました。家族で会話を楽しみながら、おいしく食べました。

さつまいもの収穫



2年生が育てたさつまいもは、とても大きく育って、みんなびっくり！みんなでスイートポテトを作って食べました。すごくおいしかったので、家でもう一度作った子が何人もいました。

かさかけ



3年生は、校庭の南はじにあるぶどう畑で、ぶどうの栽培をしました。地域の方に「ベリーA」と「甲州」づくりを指導・支援をしていただきながら作りました。ジベ処理、ふさづくり、かさかけなどの仕事も体験しました。収穫したぶどうは、給食の時間に全校児童でおいしくいただきました。

ぶどうの収穫



お弁当作り



4年生は、食育出前講座をお願いし、料理教室で「お弁当づくり」をしました。大勢の食生活改善推進委員の皆さんに来ていただき、慣れない作業も、丁寧に教えていただき、おいしいお弁当ができました。

米作り



5年生は、校庭の東側に田んぼを作り、米を栽培しました。収穫後、精米をし、家庭科の授業で「おにぎりづくり」をしました。その味に大満足の5年生でした。

こふきいも作り



6年生は、学校農園でジャガイモを作りました。たくさん穫れたので、家庭科で、「こふきいも」や「ジャーマンポテト」を作り、新ジャガの味を楽しみました。

各学年で、毎日の給食指導、県の食育教材のパンフレットを活用しての指導、「食育カルタ」を楽しみながらの指導など、進んで食育を実践してきました。



